

令和7年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

県立新庄南高等学校金山校

育てる生徒像	①思いやりがあり、明朗で協調性のある生徒 ②郷土に愛着を持ち、地域に役立とうとする生徒 ③学習と部活動の両立により心身を鍛え、主体的に学ぶ意欲的な生徒
--------	--

重点目標	1 中学校との連続性を意識しながら、個別最適な学びにつなげる。
	2 生徒の実情に応じたキャリア形成環境をつくり、生徒の学ぶ意欲につなげる。
	3 多様な交流の場をつくり、人と人との関わりを生徒の成長につなげる。
	4 魅力ある開かれた学校づくりを推進する。

達成度	A	達成
	B	概ね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

自己評価							学校関係者評価	
番号	評価項目	具体的方策	達成度	達成状況	評価指標	次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	自ら学ぶ力を生きていく力につなげる	(1)授業の準備と学習内容の復習を習慣化することで、確かな基礎学力を身に付けさせる。	C	2.8	4段階自己評価の平均3.0以上	(4)の達成状況が最も低い。関連する生徒アンケートや保護者アンケートでも同様の結果であった。(2)で一人一台PCの活用は進んでいるものの、ICT活用については課題が残った。特別支援教育を含め、来年度は中高連携の柱の一つとして取組む。	C	中学校でのICT活用状況を踏まえPCを「主体的な学びのパートナー」とする指導を期待します。AIを含むスキル向上を図る一方、健康面を考慮し手書きとのバランスも重要です。図書室活用等の読書習慣も大切に、生徒が学びの楽しさを実感し、学力向上と社会で生きる力を養う工夫を願います。
		(2)一人一台PCを活用した学習支援や探究型学習を取り入れた授業により、自ら学ぶ力を育成する。	B	3.3				
		(3)授業やホームルーム活動等で生徒のメタ認知を支援し、自ら学びに向かう力と人間性を育成する。	C	2.8				
		(4)中学校のICT活用や特別支援教育について調査研究し、生徒一人一人に合った授業を展開する。	C	2.6				
2	生徒の意欲を協働、協働を探究につなげる	(1)「時間を守る、整理整頓、元気な挨拶」を学校生活の日常とさせ、社会的資質・能力を育成する。	B	3.0	4段階自己評価の平均3.0以上	(3)について、概ね達成しているが、関連する生徒アンケートや保護者アンケートでは、昨年度と比べて低い評価となった。内容の改善や、保護者を発表会に招待し成果を披露する機会を設ける等、検討していく必要がある。	B	金山校は、少人数ゆえの師弟の近さや地域連携、全員が主役の発表の場を強みに協働的な学びを推進しています。生徒が自校の魅力に自信を持って語り、希望に沿った進路支援や多様な挑戦を通じて、社会で生きる力を育みながら、更なる教育のアップデートと成果の向上に期待します。
		(2)小規模校・少人数の良さを生かし、生徒一人一人が活躍できる学校行事や生徒会活動により、生徒の主体性を育む。	B	3.4				
		(3)「最上学」・「卒業研究」における探究サイクルを回しながら地域体験学習の発表を充実させることで、自己の生き方につながる課題解決力を身に付けさせる。	B	3.3				
		(4)生徒自身が自己の伸びや成長を実感しながら進路実現ができるよう、進路指導力の向上を図る。	B	3.3				
3	人と人との関わりを成長につなげる	(1)全ての場面において、「自分と他の人の大切さを認める」という人権尊重の精神を貫いた教育を行う。	C	2.5	4段階自己評価の平均3.0以上	(1)について、今年度も達成状況が最も低い。関連する保護者アンケートでも、昨年度比で評価が低くなったが、逆に生徒アンケートでは評価が高くなっている。人権尊重の精神を貫いた教育について、次年度は更に力を入れて取組む。	A	地域課題の解消やイベント参加を通じ、誰かの助けになることを考える経験は自己有用感に繋がります。小規模校ゆえの対人面の難しさを町の人々との交流で補い、先駆者等との繋がりの中でやりたいことを追い求めてほしい。町と連携した独自の取り組みで、自走化に向けたスキルや習慣の確立を期待します。
		(2)地域貢献活動を日常化することを支援し、多様な人々との関わりの中で育つ環境を提供する。	B	3.1				
		(3)キャンパス制に係る連携事業や他の小規模校との交流を促進することで、学校生活をより豊かで充実したものにする。	B	3.1				
		(4)「金山タイム」や「模擬議会」・「まちづくりフォーラム」等、多くの地域人材と交流する教育プログラムの充実化を図る。	A	3.5				
4	魅力ある開かれた学校づくり	(1)金山中との中高一貫教育や金山町と協働する教育プログラムにより、学校魅力化を一層推進する。	C	2.9	4段階自己評価の平均3.0以上	(1)の達成状況が低く、達成度がCとなった。新規で計画していた、中学生との交流が実施できなかったことがその一因と思われる。来年度は、実現できるよう中学校と打ち合わせを密に行っていく。更なる学校魅力化を推進する。	B	Webサイト等での魅力発信は充実しており、少人数教育の強みが伝わる「学校の顔」として継続が期待されます。今後はさらに金山中学校との連携を深め、在校生同士の交流機会を重点的に創出してください。県外生の志望動機も参考に、地元が生徒がより進学したいと思えるような身近な発信と、地域を巻き込んだ取り組みの強化を望みます。
		(2)家庭や金山町との連携を密にしなが、保護者との情報共有を積極的に行うとともに、中学生や地域の方々に「伝わり、届く」情報発信を推進する。	B	3.0				
		(3)安全と安心をベースに、生徒の学びと教師の働きを支える学校施設設備の整備・管理を推進する。	B	3.2				
		(4)業務の効率化を高めて時間外勤務時間を削減することで、教職員の「働き方改革」を一層進める。	B	3.0				

学校関係者評価基準	A:十分評価できる B:まずまず評価できる C:一部見直しが必要である D:根本的な見直しが必要である ①評価指標(自己評価の平均3.0)及び評価基準(A=3.5以上、B=3.0以上、C=2.5以上、D=2.5未満)
-----------	---

学校関係者評価を踏まえた改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの学力向上のために、ICTを学びのパートナーとし、AI活用と手書きや読書習慣のバランスを図ることで学びの質を向上させる。 ・生徒一人ひとりの成長につなげるために、金山町や金山中学校との連携を更に深めて交流機会を創出し、自己有用感を高めながら社会で自走する力を育む。
------------------	---